

**保育所
待機児解消**

保育士の処遇改善



週刊

日本共産党
市議会報告

2016年11月14日

第1392号

【発行】
日本共産党
浦安市議団
☎ & FAX
350-1243



市議会議員
元木美奈子

入船 4-37-14
☎355-8526
minamotonton@
jcom.home.ne.jp



市議会議員
美勢麻里

北栄 2-3-16-203
☎354-9269
m5mise@jcom.
home.ne.jp

保育所の待機児童解消問題とともに保育士不足の解消が浦安市でも喫緊の課題となっております。保育士の処遇改善を9月議会で求めたことについて報告いたします。

**保育士の賃金は全産業平均より
月約10万円低い**

保育士や幼稚園の免許を持つていても、保育所や幼稚園、こども園などで働いていない潜在保育士が保育士として働かない理由に「給与の低さ」があげられています。保育は幼い子どもの成長・発達と子育て家庭を支える保護者支援、地域支援等も行う専門職であり、日々の保育は高い知見と技術、職員間の共同が求められています。ところが、2015年度の公定価格（国が定める保育の費用）では、保育士の賃金は月19万9920円です。専門職である保育士が誇りをもって仕事をするのにふさわしい賃金とはいえません。

**保育問題は
国の重大課題！**

「保育園落ちたの私だ！」「保育士辞めたの私だ！」「保護者や保育者の悲痛な叫びが、全国各地に広がり、国はようやく待機児童解消や保育士の処遇改善のために重い腰をあげようとしています。

厚生労働省は、保育を支える保育士の確保が必要不可欠として、昨年4月からの子ども・子育て支援新制度において、民間の保育士の給与が平均3%改善されるとしています。更に、2014年度の公務員給与の見直しに準拠し、保育士の給与が平均2%改善されたため、合わせて5%の改善が見込まれています。

**市内保育所への
実態調査を実施中**

9月議会では市内の保育士は厚生労働省が発表している通り準拠された処遇改善されているのか質しました。民間保育所は市を通じて県へ申請し給付を受けているものの、改善されたかどうかの実態把握はしていないことが子ども部長の答弁からわかりました。

その後の日本共産党の調査から、現在、民間保育所から2012年度と2015年度の賃金台帳を取り寄せ、比較調査を実施中であることがわかりました。

**新年度新規事業
22園実施中**

市は2016年度に独自の財源をあてて新規事業を始めています。私立の保育所・認定こども園などに勤務する保育士の処遇改善を図るため、給与の上乗せ補助を実施（左表参照）しており、「待遇改善に繋がっていると考えている」としています。

保育士給与改善事業	
私立保育所	13園
幼保連携型認定こども園	1園
小規模保育事業所	8園
保育士1人月額32500円 一時金年8万円上乗せする	